

2. 学部授業科目

授業科目名 (英文表記)	紀州郷土学 2 B ー 紀伊半島の歴史、民俗ー (Kisyu hometown study 2 B)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義
担当教員	永瀬 節治、大橋 直義、海津 一郎、吉村 旭輝、小山 譽城		
開講	南紀熊野サテライト	区分	学部開放科目
実施日・時間	第1回 12月5日(土) 13:00~17:00 (担当:大橋)		
	第2回 12月12日(土) 13:00~17:00 (担当:小山(非常勤))		
	第3回 12月19日(土) 13:00~17:00 (担当:海津)		
	第4回 12月26日(土) 13:00~17:00 (担当:大橋)		
	第5回 1月23日(土) 13:00~17:00 (担当:吉村)		
	第6回 1月30日(土) 13:00~17:00 (担当:永瀬)		

【授業のねらい・概要】

紀伊半島(和歌山県と三重県南部の紀州地域を主とする)地質地形、気候、生物、文化、歴史、自然環境、郷土の学習、保全保護から「郷土:紀伊半島」を考える。地域の独自性を総合的に学べるカリキュラムとする。本科目では地質地形の上に人の営みがあつて、現在の紀伊半島の多様性があることを学ぶ。学生、地域づくり、観光関係、地域ガイド、ジオ活動者、教育関連者、UTターン者などをターゲットとする。

2Bでは、「紀伊半島の歴史と民俗」~地形や地理的特徴により、地域で育まれた歴史と、地域に継承される民俗や芸能(祭りや獅子舞など)を紹介します。

【授業計画】

- 第1回 「熊野古道の歴史 熊野三山と熊野詣、参詣記」(教育学部・大橋)
人々は何を目指して熊野へ詣でたのか、参詣と巡礼の熊野詣について考える。
- 第2回 「徳川御三家の成立と付家老安藤・水野両家の支配」(非常勤講師・小山)
紀伊徳川家の成立と付家老安藤(田辺領主)・水野(新宮領主)両家の歴史について考察する。
- 第3回 「小栗判官物語から読み解く熊野参詣の歴史」(教育学部・海津)
人々はなぜ熊野をめざしたのか?中世物語に描かれた熊野詣を分析して真相に迫る。
- 第4回 「説話学と南方熊楠」(教育学部・大橋、ゲスト)
近代説話学の勃興と南方熊楠の学問を考える。
- 第5回 「紀伊半島の祭り、獅子舞の分布と特徴」(紀州研・吉村)
紀伊半島の祭りを知る(地理・地形から生まれた歴史、祭、民俗)
- 第6回 「地域が育んだ文化遺産の保全と活用」(観光学部・永瀬)
熊野古道や歴史的町並みなど、地域の暮らしに根ざした文化遺産の保全と活用のあり方を考える。

【到達目標】

紀伊半島の歴史、民俗について考え自らのことばで語るができる。また、それらについて自らの興味に基づいて、自ら文献等を調べることができる。

【教科書】

特に定めません。適宜、資料を配布します。

【参考書】

講義時に適宜、紹介します。

【成績評価方法】(学部生用。学部開放授業受講者用シラバスには記載されません。)

出席状況と議論への参加、授業態度やレポートなど総合的に評価します。

【授業時間外学習】(学部生用には必須、学部開放授業受講者用は任意。共通でも可)

学んだ事項について、復習と自主的に学習が必要です。

【履修上の注意・メッセージ】

基礎知識がなくても理解できるように授業を構成しますが、各自でわかりやすい入門書などを読んで理解を深めるようにしてください。